
ドラゴネット

赤見ラウル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラゴネット

【Nコード】

N3304I

【作者名】

赤見ラウル

【あらすじ】

四十三年前の公永党政権交代。

圧政に苦しんだ国民はクーデターを起こし、勝利を収める。だが、人々は尚も争いを止めようとはしない。

散在する民兵組織の一つ、「あさぎ部隊」の隊長である浅木拓司と、その部下達が、戦いのさ中、奇妙な「会社」と遭遇する。

世界有数の先進国、日本。

この国がそう呼ばれていたのも、今は昔。

四十三年前の公永党による政権交代。その後、この国は荒みに荒んだ。

皇室撤廃を手始めに、外交、貿易の大部分は著しく制限される鎖国政策。

自衛隊は軍隊として明確化され、憲法第九条は撤廃。名実ともに日本軍が復活。

国民は常軌を逸した重税に苦しめられ、公永党による圧政は二十年の永きに亘った。

世界有数の先進国、日本。

この国がそう呼ばれなくなったのも、その頃からだった。

狂気の圧政に、国民がただ黙っている筈も無かった。

数多の民間団体と、一部の軍部が同盟し、日本政府に反旗を翻した。

それは俗に「終末の鐘」と呼ばれる、日本史上最大のクーデターだった。

当初は絶望的とまで言われていた叛乱だったが、政府に強い反感を抱いていた国軍兵が次々と反乱軍側へと寝返り、政府の戦力は次第に減殺。

そして、反旗を翻し七年の月日が経過した年の解夏。日本政府は完全崩壊を喫する。

反乱軍が内閣府へと襲撃をした際、重役達の部屋は蛻の殻であった。

そう、政府は逃げ出したのだ。…反乱軍の、日本国民の勝利…国中がそう信じ、歓喜した。

だがそれも、永くは続かなかった。

どん底まで低下した日本の国力。

完全失業率は実に六十パーセント。義務教育も私立学校も撤廃され、学を知らない子供達が蔓延していた。

誰が、誰がこの荒廃した列島の政に携わり、再び先進国として復興させるのか。

誰もが、嫌がった。

国民の大多数が民間による軍隊や、国軍へと所属しており、政治に興味を示す者は誰一人として居なかった。

だが、今の生活を変えたいという気持ちは誰しもが持っていた。

俺が、俺が王になってやるよ

最初に名乗りを上げた人物であり、この国の運命を更に大きく変える切欠になった、この男。

名は、兼田吉郎。

当時、中堅規模を誇っていた民兵組織「鉞部隊」の隊長である。

兼田は日本人離れした巨躯に、優れた戦闘力を有していた。

民兵組織の長であった事もあり、統率力にも目を見張る物があつたが、それは飽くまで戦場においての話。

兼田の政治は、公永党の圧政と何ら変わり様のない、稚拙で横暴な物であつた。

王座に就き間もなく、兼田は暗殺された。

兼田暗殺を皮切りに、全国の民兵組織、国軍から自身が王になると名乗りを上げる者が激増した。

四十三年前の民度を保っていたのであれば、あるいは。あるいはこんな事態に陥る事は無かったのかもしれない。

血と餓えと殺し合いを経験した日本国民に、平和的解決の概念すら思い浮かばなかったのかもしれない。

日本列島を支配せんと、散在していた多くの民兵組織が紛争を勃発する。

日本軍は瞬く間に数百数千の中隊、小隊へと解体し、この国は完全に分裂を決め込む。

それから、二十年。

日本は、国際社会で国として認識されていないのかもしれない。

無政府状態が史上に例を見ない程長期間続き、人々は争う事はやめない。

争いの果てに見出す目的も、もしかすれば皆忘れているのかもしれない。

この日本列島における紛争が、戦う事が日常として享受している。

民兵組織「あさぎ」の隊長である俺も

その一人なのかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3304i/>

ドラゴネット

2010年10月8日21時23分発行